

愛媛支部

ひめ通研定期総会

4月28日(土)、愛媛県男女共同参画センターで、愛媛県手話通訳問題研究会定期総会が開かれました。

来賓あいさつでは、昨年度のえひめ国体・えひめ大会での協力への感謝や、さまざまな課題を解決するために一緒に取り組んでいこうという力強い励ましのことをいただきました。昨年度の活動報告、新年度の事業計画などの議案が各部から出された後、質疑応答が行われ、成年後見制度に関わる聴覚障害者の現状について情報提供や呼び掛けがありました。ひめ通研の特色である「司法部」を中心に、いろいろな面から聞こえない人の暮らしを支えていけるよう、会員みんなで考えていきたいと思えます。

午後からは、日本ろう者劇団の砂田アトム氏の講演・ワークショップが行われました。砂田氏は愛媛県出身ということで、昔から知っている人も初めての人も、参加者全員が和やかな雰囲気を楽しみました。



2018年度 香通研定期総会

香川支部

4月15日(日)高松市総合福祉会館にて定期総会が開催されました。会員総数78名の内、出席者24名(内 役員10名)、委任状41名でした。今年度は、例年に比べ多くの方に来ていただき、良いスタートが切れました。

役員の入替わりがありましたが、3名の新しい役員も無事に承認を得ることができ、役員一丸となって心機一転頑張ります。5月現在で、すでに7名の新規会員が入会されました。ここで、止まることなく更に声をかけ続けたいと思えます。そして、継続会員率100%を目指し、役員間でも細やかな情報共有を意識し活動できればいいなと思えます。

2020年の香通研創立40周年に向けての実行委員会が立ち上がります。聴障協会と共催の行事も、生まれ変わるために今年度が最終となる行事がいくつかあります。昨年度に引き続き、様々な課題に取り組みながら、進化し続ける香通研でありたいです。個々の力を十分に発揮し、来年の今頃「いい1年だった」と言えるように頑張ります。



とさ通研総会開催

4月15日、第36回とさ通研総会を開催しました。

再入会会員が、今までは学習会に出席できずにいたので会員を辞めていたが、先日の登録研修会で「会員の役割は様々あり会費を納入することも大切な活動であり、聴覚障害者運動に繋がっている」との話を聞き、再入会を決めたと話してくれました。また、夫婦会員も3組になり、うち1組はお二人とも手話学習者です。他の2組の夫婦会員は、ご主人が奥様の手話活動に理解を示したということでしょうか。新会員の参加もあり嬉しいことばかりでした。

総会後は毎年恒例になっています聴覚障害者協会理事にお話していただく学習会です。今年は会長の竹島春美氏。テーマは、四国の手話「あさいと」収録・編集・出版の背景と結果です。終了後は我が会長の前田真紀と固い握手を交わし、コメントをいただきましたので紹介します。

「通研会員として活動することは勿論地域で一市民一住民として出来ることを考え地域で活動したことを通研に繋げて活動してほしい」



高知支部

あさいと 結社

平成30年度徳通研定期総会

平成30年度の定期総会が4月28日(土)午前10時過ぎに開会し、会長挨拶後、出席23人、委任24人で総会の成立を確認しました。会計報告では、記載ミスがあり監査から会計の仕方についての意見が出されました。今年は役員改選の年ですが、大きな役員の交代はありませんでした。会員数も60人を越えました今、実態をみると会員同士の交流は活動があるなしで大きく違い、各組織の活動が機能するためには、やはり会員が参加してこそその活動につながるのと同時に、徳通研活動以外で活動ができている方にも参加してもらえよう、会員への意識をどう高めていくが課題にもなりました。

午後の研究発表は、東組織部の一年間の研究成果として、「手話語り『傾城阿波の鳴門』』という芸能文化の継承につながる発表で、鑑賞した人が涙を流すほど感動する完成度でした。さらなる活動に期待が高まりました。後半は、理事になって2年目の西組織部長高田さんが「徳通研入門講座～屋下がりのとく・つう・けん～」と題して学習をしました。新会員にもわかりやすく、写真等を使って学習を進めたので、学習したことを少しでも消化し、自分自身の言葉で会員であることを語れるようになったかな?と思えます。新しい仲間を増やしていけるようにしたいものです。



徳島支部